

**事務事業評価シート**  
(根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画事業)

主管課名(担当名)	保健課(健康推進担当)	事業年度	R2
事務事業名	医療施設等事業者臨時支援事業	事業番号	12857

**1 施策体系(市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画)**

施策体系との関連	施策区分	経済活動回復/フェーズ2
	施策目的	2.長期化への備えと社会変容への対応等

**2 事務事業の概要と目的**

対象 (交付対象者や対象施設など)	市内に所在する医療施設等を運営する事業者		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	感染リスクが高い最前線で医療等の業務に当たる市内の医療施設等の従事者に対し、安心して業務に従事できるように医療施設等を運営する事業者に対して助成金を支給する。 ○助成金額：一事業者あたり10万円 ○対象事業者：医療施設(歯科医院を含む)/15事業者 介護保険サービス事業者など/26事業者 予備 /14事業者		
意図 (取組みに当たって期待される成果など)	新型コロナウイルス感染拡大防止及び、地域における医療等の提供体制の確保・維持を図る		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説明
	5,500千円	4,100千円	【助成事業者】 病院医療等7機関、歯科医院8機関 鍼灸治療院等8機関、介護高齢者施設11機関 障がい者施設5機関、福祉用具リース1機関  財源：感染症対策指定寄附金、 ふるさと応援・新型コロナウイルス感染症対策基金
内訳	国道支出金		
	その他特定財源	5,500千円	
一般財源			

**3 事務事業の効果検証・評価等**

	指標名	目標値	実績値
ア. 活動指標	感染拡大防止対策に取組む医療施設等事業者数	41事業者(100%)	41事業者(100%)
			(3月末現在)
イ. 検証手段・方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実地調査 <input type="checkbox"/> 検証予定 <input type="checkbox"/> その他( ) 助成金交付後における感染拡大防止対策の取組状況について現地確認 ・実施日：10月 3月 ・件数：40件 1件		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか、経済への波及効果など)	■結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 実地調査により、各機関等が徹底した感染拡大防止策を講じていることを確認でき、感染拡大の防止及び地域における医療等の提供体制の確保・維持に努め、市民生活の安心のための感染拡大防止に繋がっている。		
エ. 課題 (取組みにおける課題・問題点、原因の分析など)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 特別支援金については全対象機関に通知及び未申請者に個別再周知を行い支給を行った。		

**4 事務事業の今後の方向性**

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 <input checked="" type="checkbox"/> 完了(令和3年3月)
	引き続き、市内における各機関の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の推進を図って参りたい。

作成年月日

令和3年5月

事務事業評価シート  
(根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画事業)

主管課名(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)	事業年度	R2
事務事業名	保育施設等事業者臨時支援事業	事業番号	12866

1 施策体系(市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画)

施策体系との関連	施策区分	経済活動回復/フェーズ2
	施策目的	2.長期化への備えと社会変容への対応等

2 事務事業の概要と目的

対象 (交付対象者や対象施設など)	市内の民間保育園・幼稚園・認定こども園・認可外保育施設		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、児童や乳幼児を引き続き預けながら、自らは働き続けたいという保護者の声に応じる趣旨のもと、感染リスクに晒されながらも施設の開園を継続するとともに、新しい生活様式を踏まえた保育の実践や、規模を縮小しつつ感染対策を講じ保育行事を実施するなど、日々、安全・安心な保育環境の維持に努力されている状況を支援するものとして、感染対策費用や保育従事者に対する慰労金等、用途を限定せずに助成する。 ○助成金額：1施設につき10万円 ○対象施設数：8施設		
意図 (取組みに当たって期待される成果など)	新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底しつつ、保育活動を継続している施設を支援することにより、保護者が安心して子どもを預けられる環境整備の一助とする。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説明
	800千円	800千円	・保育施設等事業者支援臨時助成金 保育園：2施設×10万円=200,000円 幼稚園：1施設×10万円=100,000円 認定こども園：2施設×10万円=200,000円 認可外保育施設：3施設×10万円=300,000円 ・財源：地方創生臨時交付金
内訳	国道支出金	800千円	
	その他特定財源		
	一般財源		

3 事務事業の効果検証・評価等

	指標名	目標値	実績値
ア. 活動指標	感染拡大防止策を講じながら保育業務を継続する施設	8施設(100%)	8施設(100%)
イ. 検証手段・方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実地調査 <input type="checkbox"/> 検証予定 <input type="checkbox"/> その他		
	○助成金の使途と助成後の感染拡大防止策の取組状況について聞取確認を実施 実施日時：10月15日、聞取件数：8施設		
ウ. 評価 (意図する成果に有効に結びついたか、経済への波及効果など)	■結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	助成金の使途については、マスクや消毒液等感染対策用品の購入経費に充てた施設が殆どで、一部、職員の慰労金として使用した施設も聞取りで確認した。また、当助成金を活用し、感染拡大の防止を徹底しながら引き続き保育業務を運営している状況も伺え、安全・安心な保育環境の構築に繋がっているものと受けとめている。		
エ. 課題 (取組みにおける課題・問題点、原因の分析など)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		
	当事業については、幼保連携会議の中において事業内容や手続方法を説明のうえ、速やかな助成に努めたものであり、申請率は100%となっている。		

4 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 <input checked="" type="checkbox"/> 完了(令和2年9月)		
	引続き、市内保育施設等と連携しながら、安全・安心な保育環境の維持に向けて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図って参りたい。		

作成年月日

令和3年6月

**事務事業評価シート**  
(根室市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画事業)

主管課名(担当名)	総務部総務課(総務・防災担当)	事業年度	R2
事務事業名	感染症対策等防災推進事業	事業番号	12873

**1 施策体系(市新型コロナウイルス関連緊急経済対策展開計画)**

施策体系との関連	施策区分	経済活動回復/フェーズ2
	施策目的	2.長期化への備えと社会変容への対応等

**2 事務事業の概要と目的**

対象 (交付対象者や対象施設など)	市民(特に聴覚障がいのある方)、指定避難所など		
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	災害時の避難における感染症対策として必要な機器、備品等の整備、多様な避難行動の検討 ・防災行政無線戸別受信機(文字表示機能付き)の聴覚障がい者への貸与 ・避難所へ配備する感染症対策用資機材の整備 →段ボールベット・パーテーション、テント、コンテナ、衛生消耗品など ・多様な避難行動への迅速かつ正確な情報提供を行うための情報伝達手段の強化 →聴覚障がい者への文字表示機能付き戸別受信機の整備		
意図 (取組みに当たって期待される成果など)	発災時には、感染症対策として多くの避難所を開設するとともに、ホテル等の活用、安全な地域にある親類や友人宅への避難を検討するなど、多様な避難行動が求められるため情報伝達手段を強化し、さらに避難所における感染症対策の充実を図る		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他		
事業費(単位:千円)	予算額	決算額	説明
	99,476千円	99,476千円	
内訳	国道支出金	99,476千円	・財源 地方創生臨時交付金
	その他特定財源		
	一般財源		

**3 事務事業の効果検証・評価等**

	指標名	目標値	実績値
ア.活動指標	聴覚障がい者への戸別受信機の貸与人数	87名	46名
	防災コンテナの設置数	15ヵ所	15ヵ所
イ.検証手段・方法	<input type="checkbox"/> アンケート調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実地調査 <input type="checkbox"/> 検証予定 <input type="checkbox"/> その他( )		
	防災コンテナの設置・備蓄品の整備が完了した。 文字表示機能付き戸別受信機の貸与を行い、災害情報等の伝達を行った。		
ウ.評価 (意図する成果に有効に結びついたか、経済への波及効果など)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	防災コンテナの設置により避難所等における感染症対策資機材の整備が完了した。 文字表示機能付き戸別受信機の貸与による視覚に障がいのある方への災害情報等の迅速かつ正確な伝達が可能となった。		
エ.課題 (取組みにおける課題・問題点、原因の分析など)	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない		
	感染症対策に配慮した避難所の開設・運営を進めていく上で訓練等を通じた検証が必要であるため、訓練の実施に向けた取組みを進めるとともに、多様な避難行動とするため関係団体との協議等を行い、問題点等を整理する必要がある。		

**4 事務事業の今後の方向性**

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 <input checked="" type="checkbox"/> 完了(令和3年3月)
	避難所における感染症対策の充実を図り、多様な避難行動とするための取組みを進めていく

作成年月日

令和3年6月